



Japan Translation Federation

# 日本翻訳ジャーナル

社団法人日本翻訳連盟機関誌

2005年5月/6月号

## - 目次 -

### Report

- 翻訳の外野席から ..... 1  
 部分翻訳の傾向と対策 ..... 2  
 インタビュー：山崎義昭氏 ..... 3

### Honrenso

- ほんれんそうNo.100 ..... 4  
 ほんれんそうNo.101 ..... 6

### Information

- JTF<ほんやく検定>合格者発表 ... 8  
 JTF<ほんやく検定>合格者の声 ... 9  
 JTF 翻訳環境研究会報告 ..... 12  
 JTF 西日本セミナー報告 ..... 13  
 法人プロフィール ..... 14  
 個人プロフィール ..... 15  
 JTF ニューフェイス ..... 16  
 理事会だより ..... 16

社団法人日本翻訳連盟

〒104-0032

東京都中央区八丁堀 2-8-1 牧野ビル 3F

TEL 03-3555-6365

FAX 03-3552-1784

発行人 勝田 美保子(会長)

編集人 野上 員生

印刷 創栄印刷工業株式会社

E-mail info@jtf.jp

URL http://www.jtf.jp/

## 翻訳の外野席から

平本 照磨 JTF 理事、(株)アルク代表取締役社長

ながらく英語教育の周辺でビジネスをやってきて、翻訳はつねに隣接したテーマとして関心を持ってきました。1971年に「English Journal」を創刊したきっかけは、その前に国際会議のオーガナイザーという、当時では新しい語学の専門ビジネスに関与した事です。

今でいうベンチャー企業です。外貨不足で、国際収支の赤字を観光収入で補う事が、国策的にも重要な課題だった頃です。日本に国際会議を誘致するためには、それを受け入れるためのサービスが必要となり、プロの翻訳者、通訳者の養成が急務でした。このときの経験が、役に立つ英語力を身につけるための英語教材の開発、つまり「English Journal」の創刊につながったわけです。

必然的にEJ誌の創刊主旨は、役に立たない学校英語からの脱却、コミュニケーションの道具としての英語の習得をめざすことでした。創刊号の編集長は、実業之日本社から「20ヶ国語べらべら」というベストセラー本を出した語学の天才、種田輝豊でした。彼は国際会議の公用語を一人でチェックできるというスーパーマンでした。ぼくはいまだに彼をしのぐ語学の天才に出会ったことがありません。

前置きが長くなりましたが、役に立つ英語の習得と英語を使う情報の提供という使命が、後の「翻訳事典」「通訳事典」「実務翻訳事典」というムックの発行につながります。この出版活動を通して翻訳の業界とつねに接点を持ち、

関心をもってきたわけです。プロの翻訳者でもないぼくが、日本翻訳連盟の理事という大任を仰せつかったのも、長年翻訳の世界の外野席にいたという経緯からだと思います。

翻訳という仕事は本当に難しい仕事だと思います。一流の通訳者が必ずしも一流の翻訳者にはなれないという事も現実に見てきました。翻訳といういつも頭に浮かぶのは、Translator's traitorという言葉です。100%完璧な翻訳を期待しても必ず裏切られるという事です。煎じ詰めれば、言葉というものが、どれだけ人間の意志や感情を正確に伝達できるかという事にかかわってくると思います。

20年前から、人工頭脳を駆使した機械翻訳が、いずれ翻訳者にとって代わる時代が来ると言われてきました。「翻訳事典」でも何度か特集で取り上げ、その可能性を見つめてきました。デジタル技術がこれだけ急速に発達した21世紀社会になって、翻訳者が不用になったかといえば決してそうではありません。それどころか逆に翻訳者の重要性が再認識されてきたのではないのでしょうか。

確かに一部の技術翻訳やビジネスライターは機械翻訳で用が足りるようにはなりましたが、すべての翻訳を機械がこなす事は不可能だということもわかってきました。その意味ではComputer's traitorという言葉も真理をついているかもしれません。

## 部分翻訳の傾向と対策

久徳 省三 JTF 理事

分野によって違いがありますが、工業分野の取扱説明書や仕様書などの文書の翻訳需要は、部分訳が主流になっています。

つまり、旧製品の説明書や仕様書の訳文を活かし、新製品で変更された箇所だけを翻訳することです。

これは我が国だけの現象ではなく、世界中で行われています。

本来なら書類は最初から最後まで同じ人が書くべきもので、それでも数日かけて書く場合、整合性を保つことは困難です。まして、部分訳の場合は何らかの対策を講じないかぎり整合性を保つことは不可能でしょう。

一方、整合性に欠ける文書ほど見苦しいものではなく、企業の品位を傷つけます。特に取扱説明書の操作の表現が異なると誤動作や故障の原因になることがあるかもしれません。

以下に、和文英訳を例に、翻訳者の立場からみた現状と考えられる対策を提案します。

### 不整合の例

たとえば、旧版の取扱説明書の箇条書きページに「Input xxx data」という英訳文があり、そのページに「yyy データを入力」と「zzz 規制面を入力」という新版の原稿が支給された場合です。

旧版で「入手」を“input”と訳してあることがわからないかぎり、翻訳者は「入手」を“input”とは訳すことはないでしょう。通常“acquire, obtain, gain”などと訳すと思います。ところが、この2行だけ“Acquire”で他の数行が“Input”であれば、かりにそれが正しくても不自然な英文書

類になります。「～以下」も“less than ～”と訳すか“～ or smaller”と訳すかは翻訳者によって異なります。

### 現状

翻訳会社によっては、発注原稿に前加工をして、翻訳不要箇所は前版の英訳文を記載し、翻訳必要箇所に和文を残した原稿を支給なさいます。全部和文で、翻訳必要箇所だけ色を変えた原稿を支給なさる会社もあります。

いずれも膨大な時間と手間がかかる作業ですが、後者の場合は費用をかけて前加工をしたにもかかわらず、訳文の整合性を保つことはできません。

### 部分翻訳の先駆者

IT 分野は、マニュアル作りを得意とする米国で需要が発生したので、ソースクライアントは用語集やスタイルガイドとよばれる表記法を支給しています。

当初から部分翻訳を念頭においていたため、TRADOS が実用化されたときは翻訳メモリーをフルに活用して訳文の整合性を保っています。

### 対策

本書をお読みの方はご存知と思いますが、TRADOS の WinAlign という機能を使うと、旧版の原稿と訳文があれば、ソフトウェアが自動的に対訳文例集を作成してくれます。

その文例集は翻訳メモリーとして、新版の翻訳に使用することができます。時間がかかる前述の前加工をやる必要はありません。

翻訳会社は、翻訳者に新版の原稿と翻訳メモリーを支給すれば、翻訳者は「入手」を“input”以外の訳語に訳すことはな

く、整合性は保たれます。

### 問題点

TRADOS は複雑なソフトウェアで簡単に操作ができないのと、高価なので翻訳者は敬遠しがちです。また、翻訳メモリーとの一致率によって翻訳料金が安くなるのに抵抗を感じている翻訳者が多いようです。

数年前までは、翻訳会社が翻訳者に TRADOS を支給していました。最近では TRADOS 社の方針が変わったのでそれができません。

### 解決策

幸いに、いままで機械翻訳ソフトを開発していたソフトウェアメーカーが翻訳メモリー機能を加えた製品を販売するようになりました。また、TRADOS より操作が簡単で価格も低廉な翻訳メモリー機能だけのソフトウェアも販売されています。翻訳メモリーを作成する手間はたいへんですが、作成した翻訳メモリーをソースクライアントにチェックしていただければ、旧版の訳が不自然な箇所の訂正もできます。

翻訳会社は、クライアントがチェックなされた翻訳メモリーと新版の原稿とを支給し、操作が簡単な翻訳メモリー機能だけのソフトウェアを翻訳者に貸与すれば、整合性は保て発注者にご満足いただける訳文を提供することができます。

翻訳文の品質は、とかく言語学的品質にこだわる傾向にありますが、実務文書では用語の統一や表記の整合性の方が重要と思います。

会社によってご方針や条件が違いますから翻訳者をご提案するのも余計なお世話ですが、事情が許す範囲でご検討いただければ幸いです。

## ソフトウェア・医療関連ドキュメントの

### 翻訳 翻訳者派遣

ソフトウェア・医療分野の翻訳に特化しております

- ・ TRADOS翻訳が100%です
- ・ 英文和訳・和文英訳が中心です
- ・ 派遣先は外資系ソフトウェアメーカーです

新進気鋭の翻訳者を探しています

**ABES (株)エイブス**  
http://www.abes.co.jp/

〒154-0012  
東京都世田谷区駒沢  
2-11-1 集花園ビル3F  
TEL:03-5431-6371  
FAX:03-5432-4467  
E-mail:info@abes.co.jp

## コンピュータ、情報通信、特許の技術翻訳者を養成



注目の  
新講座

### ■TRADOSトレーニング ※ラーニング講座

翻訳に必要なTRADOSのスキルを、  
実務に即して習得。

### ■通信部「特許コース」

実際の英文明細書を使って翻訳演習を行う。  
特許翻訳者に必要な特許の知識も学べる！

**ABES技術翻訳SCHOOL**

〒154-0012 東京都世田谷区駒沢2-11-1 集花園ビル3F  
TEL:03-5432-4466 FAX:03-5432-4467  
E-mail:school@abes-tt-schl.com

http://www.abes-tt-schl.com/をご覧ください！

## インタビュー：山崎 義昭氏（株）アドレム代表取締役

～「ほんれんそう」執筆への抱負を聞いた～

今号から、高崎栄一郎氏（JTF専務理事）に代わって、山崎義昭氏（株式会社アドレム代表取締役）が、新たに「ほんれんそう」執筆陣に加わって下さることになった。「ほんれんそう」執筆への思い、読者への期待などについてお話を伺った。（インタビュアー：野上員生 JTF ジャーナル編集委員長）

「ほんれんそう」を執筆して頂くことになり、ありがとうございます。

過去30年間にわたり、毎月一回、英語や翻訳に関して感じたことを書いて翻訳者やクライアントに送っています。堅苦しいことは考えないで、英語は面白いなあと感じて頂ければいいという気持ちで書きためたものがあつたのです。せっかくなので、語学の面白さが伝わればいいとの思いで、連盟の皆さんに提供しようという気になったのです。

一部、読ませて頂いたのですが、非常に興味深い内容で、楽しみにしています。

大まかには、一般的な英語表現に関する解説と、文法的な話題に分かれています。翻訳をやっていると、日常使われている言葉に思わぬ落とし穴があつてつまづくことがよくあるのですが、基本的にはそういう点に力を入れています。日常よく見る言葉だからといって慣れてしまわないで、常に新鮮な気持ちで眺めることが大切なんです。翻訳者にとっては、「英語の見方」を身につけるのに役に立つのではないかと思っています。つまり、ここに書いてある知識を覚えるというのではなくて、そういうことに目を向けるという姿勢が大事だと考えています。

語学の基礎知識を持ってない翻訳者が増えているのでしょうか。

率直なところ、みんな最初は一生懸命やろうと取り組むんですが、収入が気になり始めると、それに反比例して勉強しなくなる傾向があります。長い目で見るとそれが命取りになるんですが、結局仕事に追われて、収入のために仕事をたくさんやろうとする。そうしているうちに、時代も変わり、技術も変わってきて、対応できなくなるんです。自分で補強していかない。

基本的な問題としてはどのようなものがあるのでしょうか。

日本人が書いた英文を見ると、たとえば分詞構文の使用法などにおかしいものがたくさんある。それも決まったパターンがあるのです。また、一つの文章の中では、全体のどこどこがどのように関わっているかが非常に重要なんですけど、そういう関連性が成り立っていないと読む方が非常に苦労する。そういうことへの配慮が欠けている翻訳者が非常に多い。

翻訳をやっていると、文章全体より、今訳しているセンテンスばかり見てしまうんです。

一生懸命やればやるほど、今自分がやっている箇所のみ神経がいつてしまう。書く場合も同じで、書き始める前に、文章全体の骨格を考えて、それを設計してから書くのと読みやすい文になるのですが、そういうことを考えないで、長い文を無理矢理書いてしまうと途中でにっちもさっちもいなくなって、それをまた強引にやってしまうと読む方が大変になる。クライアントから来る英訳用原稿にもそういうものが多いです。

御社の「翻訳コンテスト」についてお伺いしたいのですが。

翻訳者への励ましのためにやっているのですが、非常に人気があります。入賞したら賞も出るし、とても喜んでもらえています。翻訳者も、自分の実力が認められたと感じられる。現在は、これを、もう少し大きな形でやりたいと思っています。たとえば、ジャーナルの広告スペースを利用して、そこでやるとか。ジャーナルをもり立てる意味でも、そういうことをしたいと思っています。

翻訳者の募集はどのようにされていますか。

主にインターネットですね。前は雑誌にも広告を出していましたが、最近はウェブからの応募が多いです。合格するのは100人に一人程度。妥協するとひどい目に遭いますが、いい人を見つけたときはダイヤモンドを見つけたようにうれしいです。

翻訳者へのフォローアップなどは？

基本的に、翻訳は添削して訳者に返しているのですが、多くの翻訳者に共通した問題があります。それを定期的に整理してまとめた冊子を、翻訳者に配っているのですが、だめな人ほどそれを読まない。そして同じミスを繰り返す。大丈夫な人ほどちゃんと読む。また、翻訳に自信のない箇所があれば報告してくれと、契約条件にも入れて念押ししてあるんですが、問題のある翻訳者ほどきちんとやってくれない。とにかく、色々工夫して力を付けてもらおうとしているのですが、なかなかうまくいきません。

最近の若い人はどうですか。

自己宣伝ばかり多い人が増えている。トライアルで文法の問題を10問出すんですが半分できればいい方。この成績と翻訳の実力とは相関があつて、100点取る人は翻訳もいい。最近、講演などしても翻訳の話題に対する反応が鈍い。仕事につながる、収入に関する話には興味を示すが、自分の実力を上げるという話には興味を示さないという傾向があります。

ジャーナルの読者に対して一言。

連盟の会員さんも、希望を持って勉強を続けていたら、いずれは報われるということを知って欲しい。これほど技術立国だとか言われていても、基本的な表現さえ知らない翻訳者が多い。基礎的な教育をきちんとすることが大事だと思います。仕事だと思つて大変に思うかもしれないが、語学の知識獲得というふうに考えれば、問題が多いほど面白いと感じることもできるのです。

山崎 義昭氏プロフィール

昭和14年1月1日生。昭和38年東京外国語大学フランス語科卒業。ニチメン、ビクター勤務を経て、昭和46年に株式会社アドレムを創立。

『辞書や文法書のみからでは伺えない英語の側面に光を当てて言語の深みと面白さを見直し、また翻訳に役立つ情報をも掘り起こしてみたい。』



# ほんれんそう No.100

英語漫筆(1) 句読点

山崎 義昭(株)アドレム代表取締役

カタカナ、ひらがな書きの文章では句読点の有無で文意が大きく変わる場合があります。

「ここではきものをぬげ」この文章は「此处では、着物を脱げ」とも解釈されますが、言いたいことは「此处で、履物を脱げ」です。このような掲示文の他、特に昔の電報では句読点がないため面白いことがあったようです。

「シンダイシャテハイタノム」これも「寝台車手配頼む」と読めば問題ありませんが、「死んだ。医者手配頼む」では困ったことになりません。

「イモクワンミコトニケツカウナリトシャス」これは送ってもらった芋の礼を言った電報です。発信人は「芋玩味、殊に結構なりと謝す」と言ったつもりが、受信人は「芋食わん、みごとに穴(けつ)がうなりだしやす」と読んだという面白話です。(「日本故事物語」池田弥三郎)

英語においても、句読点がありませんと解釈が難しくなるというこのほか、面白いこと、面倒なこと、困ったことが起こります。

He who can does. He who cannot teaches.

*The Revolutionist's Handbook* B. Shaw

このままでは極めて難解な文章です。しかし、原文には次のように省略を示すためのカンマが用いられています。

He who can, does. He who cannot, teaches.

省略の多くは「言葉の繰り返し」を避けて文章を簡潔にするために行います。この文章で省かれた言葉を補いますと、He who can **do** does. He who cannot **do** teaches. となり、「実践の能力のある者は実践し、実践の能力に欠ける者は教える側に立つ」という皮肉を言っていることが分かります。

さて、次の文章はいわゆる trick sentences とされるものですが、これも句読点なしではお手上げです。

1. **That that is is that that is not is not is not that** it is.
2. He said **that that that that that that that** John referred to was supposed to indicate was out of place in the sentence.
3. Jones where Smith **had had had had had had had had had had** the examiners approval.

1 番目文章に句読点を施しますと、That that is, is. That that is not, is not. Is not that it? It is. となり、「存在するものは存在し、存在しないものは存在しない。そうではないか? そうだ」という意味になります。これは That that を what と言い換えればよいのですが、それでは trick sentence になりません。

2 番目の文章では、that の品詞がわかるように句読点を施してみますと文意が見えてきます。He said that<sup>1</sup> that<sup>2</sup> “that<sup>3</sup>” that<sup>4</sup> that<sup>5</sup> “that<sup>6</sup>” that<sup>7</sup> John referred to was supposed to indicate, was out of place in the sentence

1 接続詞 2, 5 指示形容詞 3, 6 指示代名詞 4, 7 関係代名詞

なお、3 は指示代名詞で was supposed の主語です。6 は指示代名詞で referred to の目的語で、関係代名詞 that<sup>7</sup> の先行詞、そして was out of place の主語となっています。したがって、文章全体の意味は『John の言う「あの that」が示すと思われる「あの that」はこの文章では適切ではない』となります。

3 番目の文章にも正しく句読点を施しますと次のようになります。Jones, where Smith had had “had,” had had “had had.” “Had had” had had the examiner’s approval. つまり、「スミスが had と書いたところをジョンは had had と書いたが、試験官は had had を正解とした」の意味となります。

言葉の遊びでは、意味が不明瞭でも、解釈ができなくても問題はありま

TRADOS  
THE LANGUAGE ARCHITECTS

## 新バージョンのリリース間近です！

お問い合わせは [info-jp@trados.com](mailto:info-jp@trados.com) まで

トラドス・ジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂 5-5-13 電話:03-3568-7072 FAX:03-3568-7073

せんが、特に仕事上の英文の読み書きにおいて句読点の有無で意味がとれない、意図を伝えないということがあると困ります。

“The play ended, **happily**,” recently wrote a local critic. What a difference a comma can make!

『この前、地元の劇評家が「芝居が終ってほっとした」と劇評に書いていたが、カンマのあるなしでなんとという違いができるものなんだろう』

カンマがなく The play ended happily. であれば「芝居はめでたしめでたしで終わった」となります。副詞は通常その前後の動詞、その直後の形容詞、副詞を修飾するのですが、その位置やカンマによって文章全体を修飾することがあり、このジョークもその一例です。

このように、カンマは文意を明瞭にする重要な機能を持っていますが、その他いろいろな働きをします。本書は文法解説を目的とはしていませんので、詳細は省きますが、特に2つの機能に触れてみます。その1つは、語句の関係を明らかにする機能であり、2つ目は付加説明を示す機能です。

#### 「語句の関係を明瞭にする」カンマ

##### 1 語句の共有を示す場合

Hutton aides **knew of**, but didn't **rectify**, overdrafts.

For the next thirty years, his plays and tracts appeared with great frequency, the former purportedly being written **in aid of**, and to **publicize** and **explicate**, the latter.

##### 2 副詞句が主文の動詞に関係することを示す場合

Chip makers now need “high” vacuum, which means a pressure a billion times less than that of the atmosphere, **in order to make devices like four megabit memory chips**.

ここでカンマは to make が means ではなく need に懸かることを示しています。

But I don't fancy he was attached to her any more. Though I daresay he made the poor woman think he was, for ends of his own.

「だけど敢えて言えば彼は自分自身の思惑から可愛そうにあの人に愛情を抱いていると思わせていたんだ」

ここでカンマは for ends of his own が was でなく made に懸かることを示しています。なお、he was の後に attached to her が省略されています。

His wife Mary は第2夫人、第3夫人？

But even to this rule an exception will occur now and then in the lapse of centuries, and **my friend Adam** was one.

Adam Bede G. Eliot

my friend Adam 中 Adam はどの友人であることを示す必須の要素です。カンマを用いませぬ。My son Michael という場合もどの息子であることを示すには名前が不可欠ですのでカンマを要しませんが、My second son, Michael では「次男」と言えば誰であるか明らかですので名前は不可欠ではありません。したがって、カンマが必要になります。この原則からしますと、my wife Mary では my wife と言えば誰を指すかは明らかですので Mary という名前自体不要です。名前を付けてカンマを省きますと、あたかも第二夫人、第三夫人などがいるかのようです。しかし、実際には、my wife Mary, my husband Robert は本来あるべきカンマを省いて文法に逆らっています。これは、文法通り It's I. とは言わず It's me. と言うのが一般であることと同じ現象です。ややこしいことですが、専門家は His wife Mary をひとつの「まとまり (unit)」と考えるためカンマを要しないと説明しています。

My father and his secretary, **Raynor** - Edward Raynor - went straight into my father's study.

逆に、この文章では秘書が Raynor 1人しかいないことがカンマから読み取れます。その他の場合は以下のように「説明が必須が付加的か」によってカンマの有無が決められます。

カンマ不要

The composer Johann Strauss

The British scientist Thomson

The value 100

The year 1982

The equation  $y = x(a + b)^2$

The term “conjugation”

カンマ必要

My favorite composer, Johann Strauss

A British physician, Sir Thomas Lewis

Tokyo, the capital of Japan

Mr. Thomson, chairman of the board

Mr. Smith, our president

Monday, January 24

(以下次号)



# We Can

## ソフトウェアエンジニアリング株式会社

Software Engineering Co., Ltd. (SEC)

〒153-0061 東京都目黒区中目黒四丁目6番1号 大和中目黒ビル5階  
TEL: 03-3716-6311 FAX: 03-3716-6340  
翻訳者・執筆等ドキュメンター応募専用フリーダイヤル  
0120-086-644

**【業務内容】**

- ・企画・評価・翻訳・執筆・編集・版下作成・印刷
- ・オンラインマニュアル・ビジュアルソフト開発

— 高付加価値を持つドキュメントの提供を指向する —

# ほんれんそう No.101

誌上勉強会 (41) 医薬翻訳 (第27回) 森口 理恵

今回は、米国疾病管理センター(CDC)が作成したインフルエンザに関するQ&Aを訳していただきました。力作をお寄せいただいた方々、ありがとうございます。一般市民向けに平易に書かれた文章は、専門家向けの医学論文よりかえってむずかしい場合がありますが、今回の文章はどうでしょうか。訳していきましょう。

**【原文】**

**If I got the flu last year, will I have immunity against the flu this year?**

In general, a person who is infected with an influenza virus one year will have some immunity to closely related viruses that may persist for one or more years. For example, if someone was infected with the Fujian strain of H3N2 that predominated last season, they are likely to have some natural immunity that will give them protection if they are exposed to that strain or a closely related strain again this season. The degree of protection depends on the health of the person involved. Young and healthy people with normal immune systems will likely have good immunity against the same or related strains of virus from one year to the next. However, people with chronic health problems or weakened immune systems are less likely to have immunity from year to year.

It's important to remember that there are different types of influenza viruses circulating and different variants within virus types, and the same type of flu virus does not necessarily circulate each year. For instance, during the 2003-04 flu season, influenza A (H3N2) viruses predominated; however, infection with an influenza A (H3N2) virus would not provide protection against influenza B or influenza A (H1N1) viruses.

<http://www.cdc.gov/flu/about/qa/disease.htm>

**If I got the flu last year, will I have immunity against the flu this year?**

**(質問文)**

fluはインフルエンザを意味する口語です。immunityは「免疫」ですが、ここでは「インフルエンザに罹らない」と訳したほうが読みやすくなります。

訳例: 昨年インフルエンザにかかっていれば、今年はかかりませんか?

In general, a person who is infected with an influenza virus one year will

have some immunity to closely related viruses that may persist for one or more years. (回答の第1文)

この文脈でのwillは「常に起こること」を示しています。「インフルエンザにかかれば免疫はつく」という意味で、「つくかもしれない(つかない人も一部はいる)」や「つくでしょう(推測)」を意味するものでありません。一方mayは「典型的に起こる事柄、ある状況で起こりうる事柄」であることを示す助動詞です。

some immunityの訳語については、「若干の免疫」「多少の免疫」ある程度の免疫など使えそうな表現を考え、それぞれをキーワードにしてGoogleで検索して件数が多い表現を採用するとよいでしょう。ただし「免疫」は「ドライな雇用慣行には多少の免疫があった」などと一般的な表現としてもよく使われますから、件数を比較する場合は「ある程度の免疫 インフルエンザ」などとして情報を絞り込む必要があります。

訳例: 一般にインフルエンザウイルスに罹患すれば、そのウイルスの近縁株に対してある程度の免疫が付きまゝす。その免疫は1年~数年持続すると考えられています。

For example, if someone was infected with the Fujian strain of H3N2 that predominated last season, they are likely to have some natural immunity that will give them protection if they are exposed to that strain or a closely related strain again this season. (回答の第2文)

上の文章と同じ内容を具体的な例を示しながら説明する文章です。翻訳の際には原文をまず文頭から文尾まで読んで意味を理解して、その流れを変えずに訳す方法を考えてください。特に“they are likely to have natural immunity”と“(the natural immunity to H3N2 strain) will give them protection”の順序を原文通りにすると訳文がわかりやすくなります。

exposeは、英英辞典をひけば“to fail to protect someone or something from something harmful or dangerous”という意味であることがわかります。英和辞典をみて「さらす」などの訳語を拾い出して単純に当てはめるのではなく、動詞の意味を考えて訳しましょう。

Protectionとは、ここでは感染(病原体が生体内に侵入し、一定の病変を惹起する)が生じないことをいいます。ウイルスが生体内に侵入しても、そのウイルスに対する免疫が働いて排除されてしまうのです。

# 今日も、人が、財産。

十印ヒューマンフロンティアは、2月1日をもって十印と統合し、十印と社名変更しました。良い仕事は、良い人材を育てます。翻訳、通訳の人材サービスで豊富な実績を誇る十印は、そう考えます。あなたの才能がイキイキと輝ける機会を提供することが、わたしたちの使命であり、ビジネス力であると考えます。派遣という事業の主役は「人」です。主役であるあなたの希望・実力・適性を的確に把握し、あなたにとって理想的な職場を紹介します。十印で、ワンランク上の仕事を選んでください。

**あなたの仕事は、ここにあります。**

派遣スタッフ募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>■翻訳者 ■通訳</li> <li>■テクニカルライター</li> <li>■プロジェクトマネージャ</li> <li>■バイリンガルセクレタリ</li> </ul>	登録スタッフを随時募集中
	<p><b>www.to-in.co.jp</b></p> <p>一般労働者派遣業(般13-040647) / 有料職業紹介業(13-04-ユ-0518)</p>	
<p>TEL 03-3455-8861 FAX 03-3455-8863</p> <p>info-global@toin-hf.com</p>	<p>株式会社 十印[ヒューマンリソース]</p> <p>〒105-0014 東京都港区芝1-12-7 芝一丁目ビル(旧日生ビル)</p>	
		



訳例:例えば昨年に流行した福建型H3N2株に感染した人は、ある程度の自然免疫を持つと考えられます。このような免疫があれば、今年にH3N2株または近縁株に接触しても感染が生じません。

The degree of protection depends on the health of the person involved. (回答の第3文)

The degree of protectionは、「ある株に感染した人が後年同じ株か近縁株と接触したときに感染するかどうか」という第1文で述べた内容を意味しています。

訳例:過去に感染した株や類縁株に接触した際に感染するかどうかは、その人の健康状態によって異なります。

Young and healthy people with normal immune systems will likely have good immunity against the same or related strains of virus from one year to the next. However, people with chronic health problems or weakened immune systems are less likely to have immunity from year to year(回答の第4~5文)

“from one year to the next”は、この文脈ではconstantであることを示す表現として使われています。辞書にも載っておらず意味がとりにくい表現ですが、The Phrase Finderというサイトには、These phrases can be used to express constancy rather than change: “From one year to the next, my grandmother wore the same old black dress everywhere she went. という説明があります。(http://www.phrases.org.uk/bulletin\_board/10/messages/510.html)

これに対して“year to year”は「毎年、年々」を意味する用語です。健康な人では免疫は続くが、そうではない人は年々低下する、という対比がわかるように訳しましょう。

訳例:若く健康で免疫系が正常な人は過去に感染したウイルス株や近縁株に対して強い免疫を持ち続けると考えられますが、健康に慢性的な問題がある人や免疫系が低下した人の場合、年を経るごとに免疫を持つ割合が低下すると考えられます。

It's important to remember that there are different types of influenza viruses circulating and different variants within virus types, and the same type of virus does not necessarily circulate each year. (回答の第6文)

ここでパラグラフが変わって、インフルエンザウイルスの種類についての説明になります。typeは、A型、B型、C型という分類を意味しています。variantsは、ウイルスの表面にあるヘマグルチニンとノイラミニダーゼと呼ばれる突起の種類によりH1N1やH3N2など細分されたものを指します。

訳例:ここでもう一つ重要な点があります。インフルエンザには様々な型があり、1つの型にも複数の変異株があるため、毎年同じ

種類のインフルエンザウイルスが流行するとは限りません。

For instance, during the 2003-04 flu season, influenza A (H3N2) viruses predominated; however, infection with an influenza A (H3N2) virus would not provide protection against influenza B or influenza A (H1N1) viruses. (回答の第7文)

この文章が2004年のシーズンの開始時に発表されていることや、また質問の内容から考えて、however以下の文章は、「昨年に流行したH3N2に感染した人でも、今年にB型ウイルスやH1N1ウイルスに接触すれば感染してしまう」という説明であると解釈しましょう。

訳例:例えば2003~4年の流行期にはA(H3N2)ウイルスが流行しましたが、A(N3N2)ウイルスに感染していてもB型ウイルスやA(H1N1)ウイルスへの感染を防ぐことはできません。

from one year to the nextなど意味のとりにくいフレーズもありましたが、文章の全体の流れや、インフルエンザについて一般に言われること(一回かかれば二度とかからない麻疹などの場合と違い、何度もかかってしまう、年々流行株が違うなど)も考慮してよく考えれば、文章の書き手が言いたいことが見えてくると思います。一つ一つの単語だけではなく、文脈を単位として検討することが大切です。

次回は、family historyに関する次の文章を訳してください。

Q: My mother had breast cancer. Does this mean I will get cancer, too?

A: Having a family member with a disease suggests that you may have a higher chance of developing that disease than someone without a similar family history. It does not mean that you will definitely develop the disease. Genes are only one of many factors that contribute to disease. Other factors to consider include lifestyle habits, such as diet and physical activity.

If you are at risk for breast cancer, consider following national guidelines for a healthy diet and regular exercise. It is also important to talk with your physician about your risk and follow recommendations for screening tests (such as mammograms) that may help to detect disease early, when it is most treatable.

<http://www.cdc.gov/genomics/public/famhix/faq.htm>

翻訳は、6月28日までに森口理恵まで電子メールでお送りください (Email: riye@remus.dti.ne.jp)。電子メールの件名は『ほんれんそう No.101訳文』としてください。皆様のご参加をお待ちしております。

# 明日も、人が、財産。

十印の中心事業は、海外のソフトウェアを「ローカライズ」すること。各国のソフトウェアを、文化の異なる日本という地域環境へ最適化するために必要な仕事は、多種多様を極めます。そのため、ひとつのプロジェクトを完成させるために必要な才能もまた、多種多様なです。深度の深い専門知識から、俯瞰的視野でプロジェクトをコントロールできる能力、そしてアイデア鋭いデザイン能力。十印の仕事が必要としている才能は膨大です。

**仕事は、あなたを必要としています。**

**募集** 翻訳者(在宅) 翻訳QA ローカライズエンジニア テスター(エンジニアリング) プロジェクトマネージャ

**応募方法** 十印のwebページにアクセス後、応募フォームに記入してください。志望職種等を明記してデータを送信ください。 **www.to-in.co.jp**  
弊社担当者よりご連絡いたします。\*翻訳者および翻訳QA志望者には、トライアル受験が必須。

**☎ 03-3455-8715** **✉ hrs@to-in.co.jp**

株式会社 十印[ベンダーリレーションズ] **TOIN**  
〒105-0014 東京都港区芝1-12-7 芝一丁目ビル(旧日生ビル)

**JTF 翻訳環境研究会報告**

\*\*\*\*\*

平成 16 年度第 9 回 JTF 翻訳環境研究会  
平成 17 年 2 月 15 日 (火) 14:00 ~ 16:40

【開催場所】翻訳会館

【テーマ】医薬翻訳：こうすれば医薬翻訳者になれる

【講師】森口 理恵氏 (医薬翻訳者、JTF 会員)

\*\*\*\*\*

「日本翻訳ジャーナル」誌上で勉強会として医薬翻訳を連載中および JTF 西日本セミナーで数年来、医薬翻訳の実際についてわかりやすく解説している森口理恵氏を講師に迎え、「こうすれば医薬翻訳者になれる」というテーマのもとで第9回翻訳環境研究会が開かれた。参加者に事前に与えられた課題について細部まで丁寧に説明されたワークショップ形式の会場は、医学翻訳者や学習者などで満員になった。

翻訳者はなんでも屋

医薬翻訳の分野に限らず、プロの翻訳者にとって「調査力」は大いに必要とされる技術であるが、専門分野に特化している医薬翻訳においてはその「欲しい情報を探し出す力」、「新しい情報を素早く吸収して訳文に生かす力」が特に重要だという。

医学に関する高度な専門用語が並び、論文形式の文章が多いというイメージの医薬翻訳。医薬関係の学者や専門家および医療関係者を対象にした内容である以上、翻訳者が理科系のバックグラウンド

を持っていけばより望ましいだろう。しかし、そうでないとしても、ツールを駆使して情報を収集・調査する力を日頃から身につけるべく努力している翻訳者には入ることの出来ない分野ではないといえる。

陥りやすいワナ

講義の中で森口氏は、事前に与えられた課題について解説する中で、「ちゃんと調べて訳したか」という点を何度も参加者に問いかけた。翻訳者自身が内容の理解を試みないまま言語的変換のみ行ってしまった場合、原文の情報は意味をなさないものになってしまう。また、単語を一語ずつ辞書から拾ってきて並べただけでは、読み手の理解を後回しにしたような読みにくい翻訳文となる可能性が高い。そのような翻訳者が陥りやすい点に対して注意が喚起された。課題文の内容に基づき用語の検索、絞込み、用法の調査、事実関係のチェックをどのように、どんなツールを使って行っていくかという点に関しても例が示され、参加者は熱心に聞き入っていた。いかに早く、効率よくプロへ向けた文章を書くことができるかが情報収集のポイントといえそうだ。

プロの技術が感じられる翻訳

「原文の誤読がない・訳文が読みやす

い・誤字脱字がない・訳抜けがない」などの基本的な点に加えて、専門的な表現もきちんと押さえた翻訳のために、何が出来るだろうか。森口氏は次のようにまとめた。

- ・原文のふさわしい部分に注目して読む・内容の理解を試み、内容の前後関係がわかってから訳す
- ・辞書の活用：日本語をあてがう目的だけで英和辞書を頻用しない。むしろ英語の文法事項に注目する英語辞典の方が有用
- ・ネットの効率的かつ有意義な利用：ヒットしたコンテンツの発信元、想定される読者にも注目して事実関係のチェックを行う
- ・論文の場合、翻訳部分以外の関連文、参考文献などは重要な情報源となるので必ず目を通す

言葉の置き換えだけではなく、翻訳者は請けた仕事に合わせて自分の知識を広げ、読み手の理解のために様々な努力を払う存在であるべき翻訳者。よい訳文、よい翻訳を目指し努力していくための強い動機付けが得られた研究会であった。

報告者：大西 詠子 (個人翻訳者、JTF 翻訳環境研究会書記)



最高のバージョンを、お届けします。

ベストバージョンは、翻訳およびそれに関連するすべての作業において、常に最高の品質をお届けすることを目指しています。



Translation

Editing

Planning/Design

株式会社 ベストバージョン

〒113-0021 東京都文京区本駒込6-10-5-203  
TEL: 03-5395-4721 FAX: 03-5395-4725  
http://www.bestversion.co.jp  
Email: bv@bestversion.co.jp



## JTF 西日本セミナー報告

\*\*\*\*\*  
 平成 16 年度 西日本支部第 5 回セミナー  
 平成 17 年 2 月 26 日 (土) 14:00 ~ 17:00  
 【開催場所】グランキューブ大阪  
 【テーマ】翻訳講座の講師が本音を語る  
 【講師】奥野 博行氏 (ILC 国際語学セン  
 ター講師、JTF 会員)  
 \*\*\*\*\*

### 1. TRADOS について

TRADOS には翻訳メモリに入っている文章と翻訳する原稿の文章がどれくらい類似しているかを数値で示す「解析」という機能がある。TRADOS を使用して翻訳では、解析の結果をもとにして訳者に支払われる料金を決定する。まったく同じ文章が既に翻訳メモリに入っている場合には翻訳料金は少なくなり、似た文章が翻訳メモリ内にはない場合には「新規」として料金が支払われる。翻訳会社が「解析結果」を提示して料金を決定するが、翻訳者の方はこの「解析結果」を必ず自身で確認する必要がある。料金の決定の際に使用される、一致率ごとの「課金率」は翻訳会社で異なっているが、こちらについても



事前に確認する必要がある。

TRADOS の仕事の際にいちばん重要なのは、「その仕事が本当に TRADOS を使用する必要があるのか」ということである。一致率が低い場合には TRADOS の使用ががえって障害になることが多い。翻訳会社から TRADOS の使用が指定されても、実際にはそのことで効率が落ちる場合もあるために、TRADOS が役に立たないような場合には翻訳者の側からその案件での使用の中止を提案するべきであろう。

TRADOS 以外では、テキストファイルとテキストエディタの活用が紹介された。これはテキストファイルがもっとも軽く、蓄積量が増えても PC に負荷がかからないからである。

### 2. 翻訳者について

翻訳者のもっとも必要な要素は、「技術に対する興味、技術に対するセンス」である。このため、できる翻訳者が必ずしも高学歴とは限らない。同時に新聞で新製品や著名な文学賞をチェックするなど、社会の情報に敏感である必要がある。これらを毎日行っていくことで現在注目されている製品や情報に対する知識が蓄積されて、最終的には翻訳の基礎となっていくのである。

また、翻訳者の中にも一流から四流までいる。四流と三流の違いは「原文の表すイメージの把握」、三流と二流の違いは「訳文が正確で論理的」、二流と一流の違いは「表現力」である。

一般企業でもいろいろな等級があるのと同様に、翻訳者も一流から四流が、収入の違いこそあれ翻訳者として生計を立てていけるのが理想である。

### 3. 翻訳会社について

トライアルに合格し登録した後も、依頼



をすることもなく翻訳者を待たせる状態にしておく翻訳会社があるが、これには問題がある。レベルが高くない翻訳者については TRADOS を使用させることで翻訳を矯正し、次のステップにつなげていくといったこともひとつの方法である。翻訳という仕事に関わっていきたく考える翻訳者に、仕事ができるような環境を与えることについても翻訳会社の課題である。

### 4. 感想

翻訳者と翻訳会社がより良い翻訳を完成できるように、お互いに協力していくことは欠かせないと思う。役に立ちそうなテクニックやツールは積極的に取り入れて、向上していく努力を続けていきたい。

報告者：金子 晶子  
 (株) 翻訳センター

株式会社翻訳センターでは、随時、翻訳者や校正者を募集しております。

言語：英語・中国語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・イタリア語・ロシア語・韓国語 等(その他言語も募集しております)  
 分野：特許・工業・医薬・金融  
 内容：翻訳者・校正者・メディカルライター・通訳者・ワープロ外注・テーブルライター 等  
 応募方法：履歴書・翻訳経歴書を下記【東京】の外注先担当宛へ郵送、または弊社 Web サイトからご応募下さい。



**HONYAKU**  
**CENTER**  
 New Standards in Translation

since 1986  
 株式会社翻訳センター

虎ノ門と日本橋の事務所を統合し、汐留のヴィータイタリアへ移転しました。

【東京】〒105-0021 東京都港区東新橋 2-4-1 サンマリノ汐留 8F tel: 03-6403-9965 fax: 03-6403-9964 freelance@honyakuctr.co.jp  
 【大阪】〒541-0046 大阪市中央区平野町 2-5-8 平野町センチュリービル 9F tel: 06-6202-3287 fax: 06-6204-0608 osaka-g@honyakuctr.co.jp  
 【名古屋】〒450-0002 名古屋市中村区名駅 3-12-12 竹生ビル 2F tel: 052-571-2101 fax: 052-571-2103 nagoya@honyakuctr.co.jp

www.honyakuctr.com

## 法人会員プロフィール

### 株式会社アイディーエス Web & Documentカンパニー

〒108-0073  
東京都港区三田 3-9-9 森伝ビル 7F  
TEL: 03-5484-7811  
FAX: 03-5484-7519  
URL: <http://www.ids.jp>  
E-mail: [trial2@ids.jp](mailto:trial2@ids.jp)

#### IDS のミッション

IDS Web&Document カンパニーは、お客様が抱えるさまざまな問題に真摯に向きあい、解決策を提供することをミッションとしています。Web・翻訳・ローカリゼーション・テクニカルライティング・デザイン・DTP・印刷・ドキュメント管理・保管・配送など、ありとあらゆるドキュメントに関する悩みに対し、最新の IT テクノロジーの利用とプロセス改革を考慮に入れて、最適な解決策を模索します。「IDS のお蔭で仕事が楽になったよ。一緒に仕事をして楽しかった」とお客様に喜んでいただくために、IDS のメンバーは日々新しいチャレンジを楽しんでいます。

#### 翻訳ソリューションの提供

アイディーエスは、IT の最新技術を用いて、お客様の要求される品質、コスト、納期に見合った多様な翻訳方法をご提案します。

例えば、

- ・翻訳支援ソフトや機械翻訳を利用して納期を短くできないか

- ・お客様の求める品質を反映させた翻訳者をどのように選定するのか
  - ・テキスト解析ソフトを利用して頻出文を抽出し翻訳ボリュームを下げることで、翻訳コストをお客様の予算に合わせられないか
- などなど、プロジェクトマネージャーはいつも、お客様に最適な翻訳ソリューションを提供しようと頭をひねっています。またプロジェクトの進捗状況を、グループウェアを通してリアルタイムにお客様にも提供することで、正確かつ迅速な翻訳サービスを実現しています。

#### ローカリゼーションにおけるソリューションカ

多くのローカリゼーションを手がけた実績を持つアイディーエスは、マニュアルの翻訳のみならず、オンラインヘルプのローカライズや、ユーザーインターフェースの翻訳のために、ときにはソースコードに手を入れるアプリケーションそのものの日本語化も手がけています。もちろん、できあがったシステムの機能テストを行うための評価環境構築、データの準備、テストのシステム作りまで、全ての工程をカバーしています。ローカリゼーションには語学力だけでなく、情報システムそのものに対する理解力、開発力も求められています。企業内情報システムの立案から導入・保守まで一括してサービスを提供するシステムインテグレーション部門を持つアイディーエスなら、最新の IT 技術のノウハウをもつ SE 集

団が、お客様のどのような要望にもおこたえします。高品質を生み出すローカリゼーションの手法は対外的にも評価され、2000年に日本 IT 経営大賞(日本工業新聞社主催)でグランプリを受賞しました。

#### 顧客からの声

##### インフォテリア株式会社

高度な内容のテクニカルマニュアルの翻訳でも、アイディーエスによる緻密な翻訳システム、きめ細やかなサービスにより、言語の壁を容易に乗り越えています。今後も翻訳データの活用等による生産性の向上に期待しています。

##### ダイヤモンド社

ダイヤモンド・ハーバード・ビジネス編集部雑誌責任者：岩崎 卓也氏

ダイヤモンド社でハーバード・ビジネススクールの論文誌「Harvard Business Review 日本版」を発行しています。その内容はかなり高度かつ難解なのですが、アイディーエスの翻訳は「正確」なのはもちろん、一般の人が読んでも「わかりやすい」文章に仕上がっています。現状では全翻訳論文の 70% をアイディーエスにお願いしています。

### 株式会社 アイディーエス

〒108-0073 東京都港区三田 3-9-9 森伝ビル 7F  
TEL: 03-5484-7811 FAX: 03-5484-7519 URL: <http://www.ids.jp> E-mail: [trial2@ids.jp](mailto:trial2@ids.jp)

翻訳者の登録をお受けしています。

言語： 英 日、日 英、中国語、韓国語、仏語、独語

分野： コンピュータ(ソフト・ハード) 経営、金融、経済、医薬、機械、通信、電気、電子、半導体、計測器、ERP、生産管理、法律、契約、証券、保険、化学、バイオ、建設、土木

採用方法： トライアルの後、合格者に面接または電話インタビュー

応募資格： 翻訳未経験者可

必要書類： 履歴書、職務経歴書、当社指定のトライアル(ホームページに掲載)

応募方法： 必要書類を Eメールで送付する